

平成23年度 第6回
しあわせ倍増プラン2009市民評価委員会 次第

平成23年8月19日（金） 19:00～21:00
浦和コミュニティセンター 第13集会室

1 開 会

2 議 題

- (1) 「しあわせ倍増プラン2009」取組実績及び達成度等の
評価について（*評価対象事業：13事業）

3 その他

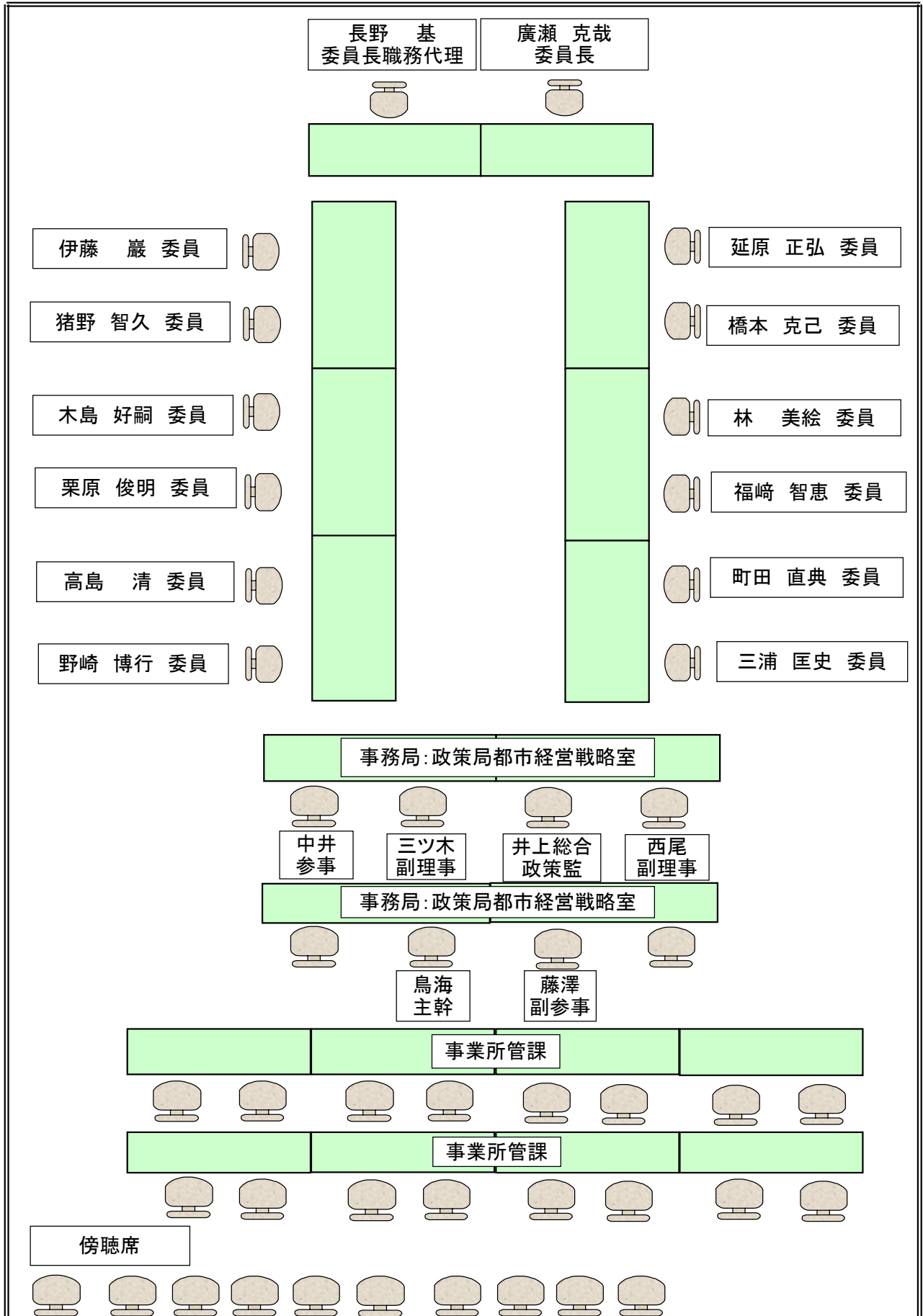
4 閉 会

【配布資料】

- ・ 次第
- ・ 座席表
- ・ 所管課職員出席者一覧
- ・ 委員評価取りまとめシート
 - ヒアリング実施6事業（資料1-1）
 - 委員評価取りまとめ一覧（資料1-2）
 - ヒアリング対象外7事業（資料2-1）
 - 委員評価取りまとめ一覧（資料2-2）
- ・ 開催日程別評価事業一覧（資料3）

平成23年度 第6回 しあわせ倍増プラン2009 市民評価委員会 座席表

日時:平成23年8月19日(金) 午後7時00分～
会場:浦和コミュニティセンター第13集会室



平成23年度 第6回 しあわせ倍増プラン2009 市民評価委員会

所管課職員出席者一覧

宣言・分野	No.	項 目		所 管 課	出席者	
					職 名	氏 名
環境・まちづくり (4/25)	49	49-1	見沼基本計画の策定	みどり推進課	課 長	安田 昌司
					副参事	野村 正美
				農業政策課	参事兼課長	中村 栄
				河川課	課 長	飯野 卓
				健康教育課	参事兼課長	新井 英人
				文化財保護課	課 長	小倉 均
				農業振興課	課 長	亀崎 一夫
	50		良好な住環境を守るための「高度地区」による高さ制限を導入します。(4年以内)	都市計画課	課 長	望月 健介
	51	51-2	暮らしの道路・スマイルロードの整備	道路環境課	課 長	伊藤 守人
					副参事	
52		効率的な道路ネットワークを構築するため、都市計画道路を抜本的に見直します。(4年以内)	都市計画課	課 長	望月 健介	
経済・雇用 (2/20)	53	53-1	セーフティネットの構築	労働政策課	課 長	中野 薫
					副参事	大塚 利昭
				福祉総務課	課 長	田中 一明
		53-2	ステップアップの取組	労働政策課	課 長	中野 薫
					副参事	大塚 利昭
		子育て支援課	課 長	利根川 和弘		

【委員評価取りまとめシート】ヒアリング実施事業 No.5-1 (第6回委員会:8月19日(金)開催)

宣言・分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H22年度 主な目標等	H22年度主な実績 ☆進捗度aの要素 ★進捗度cの要素 △加点要素 ▼減点要素	H22年度達成度 (内部評価)			
							進捗度	加点減点	点数	評価理由
6 環境・まちづくり	49-1	見沼たんぼ、荒川などの自然環境・歴史的遺産を保全・活用し、教育ファーム、市民農園など市民が憩える場所を増やします。 (見沼基本計画の策定)	4年以内	・22年度末までに見沼たんぼに関する諸施策をとりまとめた(仮称)見沼基本計画を策定 ・23年度末までに斜面林等の保全などのアクションプラン策定 ・24年度末までに、水と緑に親しむことができる市民の憩いの場所を3か所整備	①見沼基本計画の策定 ②アクションプランの検討 ③水と緑に親しむことができる市民の憩いの場所の整備1ヶ所 ④斜面林の市民協働による保全手法の構築	①見沼田圃基本計画の策定 ②アクションプランの検討 ③水と緑に親しむ市民の憩いの場所の整備1ヶ所 ④斜面林の市民協働による保全手法の構築	b	→	7	・平成22年度の数値目標、取組内容、工程表等のおり進捗したので「b」と判断。

委員名	達成度			「達成度」の評価理由等
	進捗度	加点減点	点数	
伊藤委員	b	→	7	計画通りである。
猪野委員	b	→	7	工程表通り進捗。
木島委員	b	→	7	評価理由：目標通り
栗原委員	b	→	7	—
高島委員	b	→	7	工程表通り進んでいると判断した。
長野委員	b	→	7	工程表通りの進捗内容である。
野崎委員	b	→	7	工程表の通り進捗されたと判断しました。
延原委員	b	→	7	予定通りの計画策定
橋本委員	b	→	7	事業計画(工程表)のおり、進捗したと判断しました。
林委員	b	→	7	—
廣瀬委員	b	→	7	予定通り基本計画の策定が完了し、アクションもそれぞれ工程表通りに進み始めている。
福崎委員	b	→	7	計画の実施において、参加者の声を未来の資料として集めてほしいと思います。
町田委員	b	→	7	アクションプラン、具体的な箇所整備など予定どおりの進捗状況と判断します。歴史的な資産でもある場所を身近に感じてもらうことは、ふるさとの想いづくりに有意義な施策だと考えます。
三浦委員	b	→	7	工程通り進捗と評価。
委員会評価 (平均点)	b		7.0	

【委員評価取りまとめシート】ヒアリング実施事業 No.5-2 (第6回委員会:8月19日(金)開催)

宣言・分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H22年度主な目標等	H22年度主な実績 ☆進捗度aの要素 ★進捗度cの要素 △加点要素 ▼減点要素	H22年度達成度 (内部評価)			
							進捗度	加点減点	点数	評価理由
6 環境・まちづくり	50	良好な住環境を守るための「高度地区」による高さ制限を導入します。	4年以内	・24年度末までに住居系用途地域に高度地区の指定	①市内の全建築物の現況把握 ②高さ制限を行う対象地区や高さの制限値の検討	①市内約38万棟の建築物の高さを把握 ②高さ制限を行う対象地区や高さの制限値について庁内・学識経験者等による委員会で検討	b	→	7	・平成22年度の数値目標、取組内容、工程表等のとおり進捗したので「b」と判断。

委員名	達成度			「達成度」の評価理由等
	進捗度	加点減点	点数	
伊藤委員	b	↘	6	現況確認後の都市計画の参考とする方策と思うが難しい現状と思う。
猪野委員	b	→	7	工程表通り進捗。
木島委員	b	→	7	評価理由：目標通り
栗原委員	b	→	7	—
高島委員	b	→	7	工程表通り進んでいると判断した。
長野委員	b	→	7	工程表通りの成果である。
野崎委員	b	→	7	工程表の通り進捗されたと判断しました。
延原委員	b	→	7	特になし。
橋本委員	b	→	7	事業計画（工程表）のとおり、進捗したと判断しました。
林委員	b	→	7	—
廣瀬委員	b	→	7	工程表通り。
福崎委員	b	→	7	高さ調査のデータは十分な密度があるように思えます。調査で終わらず、制度設定にまで進めることを期待します。
町田委員	b	→	7	当初の計画表から予定どおりと判断。住民ニーズを的確に把握することを重点的に実施してください。住民密着型の行政施策となることを願います。
三浦委員	b	→	7	現在パブリックコメント実施中と了解している。概ね工程通り進捗と評価。
委員会評価 (平均点)	b		6.9	

【委員評価取りまとめシート】ヒアリング実施事業 No.5-3 (第6回委員会:8月19日(金)開催)

宣言・分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H22年度 主な目標等	H22年度主な実績 ☆進捗度aの要素 ★進捗度cの要素 △加点要素 ▼減点要素	H22年度達成度 (内部評価)			
							進捗度	加点減点	点数	評価理由
6 環境・まちづくり	51-2	下水道、都市公園、生活道路など生活密着型インフラ整備を推進します。 (暮らしの道路・スマイルロードの整備)	4年以内	・24年度末までに暮らしの道路・スマイルロード整備事業により、生活道路を480件整備	①暮らしの道路・スマイルロード120件整備 ②要望受付の公表	①☆暮らしの道路・スマイルロード136件整備 ②要望受付の公表 ③☆要望対応状況の公表	a	→	9	・暮らしの道路・スマイルロード120件の整備予定が136件整備したこと、要望の受付状況のみ公表の予定が、要望対応状況の公表までできたことを評価し、「a」とした。

委員名	達成度			「達成度」の評価理由等
	進捗度	加点減点	点数	
伊藤委員	a	→	9	身近な問題として対応されているがより柔軟な対応も必要と思う。
猪野委員	a	→	9	全体として目標値を上回っている。
木島委員	a	→	9	評価理由：暮らしの道路・スマイルロード整備の達成率113%（実績136/目標120）、および要望対応状況の公表まで行えた事を評価
栗原委員	a	→	9	—
高島委員	a	→	9	内部評価と同様の評価とした。
長野委員	a	→	9	年次目標を大きく上回る整備件数を確保し、累計件数でも予定を上回ることが出来た。
野崎委員	b	↗	8	工程表を上回って進捗されたと判断しました。
延原委員	a	→	9	特になし。
橋本委員	b	↗	8	整備予定（120→136件）を加点評価しました。要望対応状況の公表は事業の必須要因と評価しました。
林委員	a	→	9	—
廣瀬委員	b	↗	8	整備実績の累計はほぼ工程表通り。対応状況の公表が前倒しされたことを加点要素と評価した。
福崎委員	b	↗	8	身近に整備された単線道路を多く見ます。 道路整備・維持事業は不可避の事業だと思いますが、巨額な投資です。これによって地元産業への貢献にすというくらいの、はっきりした姿勢を見せてほしいです。
町田委員	b	↗	8	当初予定からの進捗状況判断とします。平成21年度の反省を活かして予定を上回る進捗であることを評価します。住みやすいまちづくりを目指して良好な住環境整備を期待します。
三浦委員	b	↗	8	整備実数の多さは、昨年度の遅れを取り戻す程度で累計ベースではほぼ工程通り。対応状況の公表は評価できるのでb-8。
委員会評価 (平均点)	a		8.6	

【委員評価取りまとめシート】ヒアリング実施事業 No.5-4 (第6回委員会:8月19日(金)開催)

宣言・分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H22年度 主な目標等	H22年度主な実績 ☆進捗度aの要素 ★進捗度cの要素 △加点要素 ▼減点要素	H22年度達成度 (内部評価)			
							進捗度	加 点 減 点	点 数	評価理由
6 環境・まちづくり	52	効率的な道路ネットワークを構築するため、都市計画道路を抜本的に見直します。	4年以内	・24年度末までに効率的な道路ネットワークを構築するため、都市計画道路の抜本的な見直し	①見直し指針(案)の策定、指針(案)に基づくネットワークの再構築、見直し候補路線の抽出 ②国・県等関係機関との協議、都市計画審議会に対する報告 ③見直し作業状況の公表、意見聴取	①見直し指針(案)の策定、指針(案)に基づくネットワークの再構築、見直し候補路線の抽出 ②国・県等関係機関との協議、都市計画審議会に対する報告 ③見直し作業状況の公表、意見聴取	c	→	4	・ネットワークの再構築、見直し候補の抽出が未了、見直し作業状況の公表や意見聴取についても未了であることから「C」と評価した。

委員名	達成度			「達成度」の評価理由等
	進捗度	加 点 減 点	点 数	
伊藤委員	c	→	4	社会の変化、環境の変化に対応できていない為、相違が発生している状況と思われる。
猪野委員	c	→	4	全体として遅れていると判断。
木島委員	d	→	1	評価理由：目標3つのうち2つが遅延
栗原委員	c	→	4	—
高島委員	c	↘	3	遅れが顕著なのでこの評価とした
長野委員	c	↘	3	利害関係が錯綜する見直し候補の抽出が未了となってしまう、工程表にある「各段階でのパブリックコメント実施」も確認されず。
野崎委員	c	→	4	工程表通り進捗していただきたい。将来都市構造のあり方と合わせ進めていただきたい。
延原委員	c	→	4	特になし。
橋本委員	c	→	4	内部評価に準じました。
林委員	c	→	4	工程表の4行目、H22(実績)の列の「都市計画審議会報告」は、1行目か3行目に記載すべき。
廣瀬委員	c	→	4	全体に進捗が遅れている。
福崎委員	c	→	4	国や県とのやりとりが必要となるほど、進み方は遅くなると思います。都市計画は地方が主体となるべきです。事業の進展を望みます。
町田委員	c	→	4	住民ヒアリングなどの充実が図れていないため、予定よりも遅れていると判断。道路が生活環境に与える影響は大きいです。住民が理解できるような状況を実施すべきです。計画道路は、一度決定されると経済的な効果にも影響を与えます。慎重なる検討をお願いしたいです。
三浦委員	c	→	4	平成22年度に公表や意見聴取が進んでいない。ただし、現在パブリックコメント実施中と了解している。
委員会評価 (平均点)	c		3.6	

【委員評価取りまとめシート】ヒアリング実施事業 No.5-5 (第6回委員会:8月19日(金)開催)

宣言・分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H22年度主な目標等	H22年度主な実績 ☆進捗度aの要素 ★進捗度cの要素 △加点要素 ▼減点要素	H22年度達成度 (内部評価)			
							進捗度	加点減点	点数	評価理由
7 経済・雇用	53-1	ワーキングプアを増やさない、部局横断的な「自立生活支援対策チーム」を設置します。 (セーフティネットの構築)	4年以内	・22年度から全10区の福祉事務所に自立生活支援相談窓口を設置し、自立生活支援員を中心としたハローワークなどの関係支援機関などからなるチームを結成 ・24年度末までに就労可能な生活保護受給者を対象とした支援により、就労人数を216人に倍増	①全10区の福祉事務所に自立生活支援相談窓口の設置 ②就労可能な生活保護受給者への就労支援 (162人を就労へ)	①全10区の福祉事務所に自立生活支援相談窓口の設置 ②就労可能な生活保護受給者への就労支援 (184人が就労)	b	→	7	・平成22年度の数値目標、取組内容、工程表等のおり進捗したので「b」と判断。

委員名	達成度			「達成度」の評価理由等
	進捗度	加点減点	点数	
伊藤委員	b	→	7	自己責任に於いて対応すべきであるが、あまりにも公的支援を期待が多く感じる。
猪野委員	b	→	7	工程表通り進捗。
木島委員	b	↗	8	評価理由：就労支援達成率114% (実績184/目標162) を評価し加点
栗原委員	b	→	7	—
高島委員	b	→	7	工程表通り進んでいると判断した。
長野委員	b	→	7	工程表通りの人員配置が実施され、年次目標に即しての所定の成果を得ている。
野崎委員	b	→	7	工程表の通り進捗されたと判断しました。
延原委員	b	→	7	特になし。
橋本委員	b	→	7	事業計画（工程表）のおり、進捗したと判断しました。
林委員	b	→	7	—
廣瀬委員	b	→	7	雇用状況の厳しい中で、概ね目標値通りの実績を上げている。
福崎委員	b	→	7	参加者・利用者の拡大に取り組み、実績を上げてほしいです。
町田委員	b	→	7	当初計画した内容の取り組みを実施したとして予定どおりの進捗と判断します。就労に関する問題は、働き手の意欲やなんらかの心の問題を抱えている場合のままあります。業務斡旋に加えてカウンセリングの充実や雇用側の理解と協力体制が必要な場合が多いです。
三浦委員	b	→	7	工程通り進捗と評価。 ただし、年度の数値目標の根拠がよく分からない。
委員会評価 (平均点)	b		7.1	

【委員評価取りまとめシート】ヒアリング実施事業 No.5-6 (第6回委員会:8月19日(金)開催)

宣言・分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H22年度 主な目標等	H22年度主な実績 ☆進捗度aの要素 ★進捗度cの要素 △加点要素 ▼減点要素	H22年度達成度 (内部評価)			
							進捗度	加 点 減 点	点 数	評価理由
7 経済・雇用	53-2	ワーキングプアを増やさない、部局横断的な「自立生活支援対策チーム」を設置します。 (ステップアップの取組)	4年以内	・21年度から若年者向け就職支援セミナーを年2回から4回に増 ・21年度から新たにキャリアコンサルティングを週2回実施 ・21年度中に母子家庭の母親就業支援 ・22年度から新たに市内企業での就業体験事業を4社8人を対象に実施	①若年者向け就職支援セミナー年4回実施 ②キャリア・コンサルティング週2日実施 ③市内企業での就業体験事業を4社8人を対象に実施	①若年者向け就職支援セミナー年5回実施 ②キャリア・コンサルティング週2日実施 ③市内企業での就業体験事業に3社6人が参加	b	→	7	・平成22年度の数値目標、取組内容、工程表等のとおり進捗したので「b」と判断。

委員名	達成度			「達成度」の評価理由等
	進捗度	加 点 減 点	点 数	
伊藤委員	b	→	7	若者が将来生活する上で危機感を持って考えるべきで、何でも公的に期待する事はいかがかと思う。
猪野委員	b	→	7	工程表通り進捗。
木島委員	b	→	7	評価理由：目標通り（但し、コメント部分は課題として欲しい） コメント：5社10人の募集（参加は3社6人）と正規雇用への繋がりをもって目標通りとしているが、本来は参加を目標とすべき。参加がない企業といくら契約をしても倍増プランの目標達成には繋がらないと考える
栗原委員	b	→	7	—
高島委員	b	→	7	工程表通り進んでいると判断した。
長野委員	b	→	7	概ね工程表通りの成果である。
野崎委員	b	→	7	工程表の通り進捗されたと判断しました。
延原委員	b	→	7	—
橋本委員	b	→	7	事業計画（工程表）のとおり、進捗したと判断しました。
林委員	b	↘	6	若年者向け就職支援セミナーを5回（内1回は保護者向け）も行なって、H20,18年度よりも受講者数が少ない結果となったため、「6」に減点。
廣瀬委員	b	→	7	—
福崎委員	b	→	7	参加者・利用者の拡大に取り組み、実績を上げてほしいです。
町田委員	b	→	7	セミナー開催、キャリアコンサルの実施など、予定どおりの進捗と判断します。思春期の問題でもある「不登校」になっている子どもたちの取り組みが長期的な改善の対策になったりもします。行政のかかわりの範囲が課題だと思います。
三浦委員	b	→	7	工程通り進捗と評価。
委員会評価 (平均点)	b		6.9	

＜ヒアリング実施事業(6事業)＞

宣言・分野	No.	倍増プラン事業名	委員名 (敬称略)	伊藤	猪野	木島	栗原	高島	長野	野崎	延原	橋本	林	廣瀬	福岡	町田	三浦	達成度															
																		進捗度					点数										
																		a	b	c	d	平均値	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
6 環境・まちづくり	見沼たんぼ、荒川などの自然環境・歴史的遺産を保全・活用し、教育ファーム、市民農園など市民が憩える場所を増やします。																																
	49-1	見沼基本計画の策定	達成度	進捗度	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	14	b	14	7.0											
				点数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7					7										
	50	良好な住環境を守るための「高度地区」による高さ制限を導入します。	達成度	進捗度	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	14	b	13	1	6.9										
				点数	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7						7									
	下水道、都市公園、生活道路など生活密着型インフラ整備を推進します。																																
51-2	暮らしの道路・スマイルロードの整備	達成度	進捗度	a	a	a	a	a	a	b	a	b	a	b	b	b	b	8	6	a	8	6	8.6										
			点数	9	9	9	9	9	9	8	9	8	9	8	8	8	8							8									
52	効率的な道路ネットワークを構築するため、都市計画道路を抜本的に見直します。	達成度	進捗度	c	c	d	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	13	1	c	11	2	1	3.8									
			点数	4	4	1	4	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4								4								
7 経済・雇用	ワーキングプアを増やさない、部局横断的な「自立生活支援対策チーム」を設置します																																
	53-1	セーフティネットの構築	達成度	進捗度	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	14	b	1	13	7.1										
				点数	7	7	8	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7						7									
	53-2	ステップアップの取組	達成度	進捗度	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	14	b	13	1	6.9										
点数				7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	7	7	7	7															

※平均値の集計について … 達成度の点数が単独で2点以上の開きがある場合は、離れ値として扱い、平均値の算出から除外している。

【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外 No.5-1 (第6回委員会:8月19日(金)開催)

宣言・分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H22年度 主な目標等	H22年度主な実績 ☆進捗度aの要素 ★進捗度cの要素 △加点要素 ▼減点要素	H22年度達成度 (内部評価)			
							進捗度	加 点 減 点	点 数	評価理由
6 環境・まちづくり	49-2	見沼たんぼ、荒川などの自然環境・歴史的遺産を保全・活用し、教育ファーム、市民農園など市民が憩える場所を増やします。 (歴史的遺産・自然環境の活用)	4年以内	・24年度末までに見沼代用水や通船掘沿いに休憩施設を5か所増 ・24年度末までに見沼通船掘の閘門や鈴木家住宅の適切保全とともに、案内看板や休憩施設を設置し、憩える場所として歴史的遺産の活用	①ワークショップによる休憩施設設置場所等の検討 ②休憩施設1か所設置 ③見沼通船掘堤塘等の修繕 ④文化財案内板1か所設置	①ワークショップ4回開催 ②△休憩施設1か所設置するとともに、市民協働により手作りの竹柵等を設置 ③見沼通船掘堤塘等の修繕 ④文化財案内板1か所設置	b	7	8	・平成22年度の数値目標、取組内容、工程表などのおり進捗したので「b」と判断。 ・休憩施設を市民協働及び企業の寄付により設置できたことを加点評価した。

委員名	達成度			「達成度」の評価理由等
	進捗度	加 点 減 点	点 数	
伊藤委員	b	→	7	計画通りである。
猪野委員	b	→	7	工程表通り進捗。
木島委員	b	7	8	評価理由：市民協働、および寄付という支援による施設設置を評価し加点
栗原委員	b	→	7	「市民との協働～」という点は、取り組み内容として盛り込まれていたので、加点要素にはならないと判断しました。
高島委員	b	→	7	工程表通り進んでいると判断した。
長野委員	b	→	7	工程表通りの進捗内容である。
野崎委員	b	→	7	工程表の通り進捗されたと判断しました。
延原委員	b	→	7	目標通りなので8点にする必要なし。
橋本委員	b	→	7	事業計画（工程表）のとおり、進捗したと判断しました。 市民や企業との協働に関しては、スタンダードとして判断しました。
林委員	b	7	8	—
廣瀬委員	b	→	7	市民協働による取り組みは評価できるが、実績自体は基本的に工程表通りと評価した。
福崎委員	b	7	8	民間との協働による取り組みを加点ポイントとすることは、重要な視点であり、今後も視野に入れて頂きたいです。
町田委員	b	→	7	具体的なビューポイントの整備など予定どおりの進捗と判断
三浦委員	b	→	7	工程通り進捗と評価。 市民協働の加点要素は認めるが、見沼田圃では、多くの市民団体が自発的な活動に取り組んでおり、そのような団体との協働をもっと進めることが大切と考える。本事業の市民協働は、生涯学習的意欲を持った個人の参加と見る。従ってb-7。
委員会評価 (平均点)	b		7.2	

【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外 No.5-2 (第6回委員会:8月19日(金)開催)

宣言・分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H22年度主な目標等	H22年度主な実績 ☆進捗度aの要素 ★進捗度cの要素 △加点要素 ▼減点要素	H22年度達成度 (内部評価)			
							進捗度	加減点	点数	評価理由
6 環境・まちづくり	49-3	見沼たんぼ、荒川などの自然環境・歴史的遺産を保全・活用し、教育ファーム、市民農園など市民が憩える場所を増やします。 (教育ファームの実施)	4年以内	・24年度末までに全市立小・中学校で教育ファームを実施(見沼たんぼ内は小・中あわせて50校)	①学校教育ファーム小学校30校、中学校10校で実施(累計:小学校53校、中学校22校) ②見沼たんぼ内は、小学校11校、中学校5校で実施(累計:小学校15校、中学校5校)	①△小学校43校、中学校4校で実施(累計:小学校66校、中学校16校) ②▼見沼たんぼ内では、小学校3校、中学校2校で実施(累計:小学校10校、中学校2校)	b	→	7	・学校教育ファームの実施校の累計が、目標の75校より7校多く実施することができたので加点要素としたが、見沼たんぼ内での実施校が目標より少なかったため、減点要素とし「b」と判断。

委員名	達成度			「達成度」の評価理由等
	進捗度	加減点	点数	
伊藤委員	b	→	7	計画通りである。 子供達が将来何の期待をするか明確にすべきである。
猪野委員	c	↗	5	学校教育ファームに関しては中学校に遅れがあり、見沼たんぼ内においては小・中学校ともに遅れがある。従って全体として遅れていると判断し、進捗度は「c」。また、学校教育ファームにおいて小学校では目標を上回っているため加点。
木島委員	c	↗	5	評価理由:達成率について、市内小学校の143%は評価できるが、中学校40%、見沼たんぼ小学校27%、中学校40%は逆に大きく未達のため、目標に対し遅延とする。但し、市内小学校の評価を考慮し加点とする。(質問への回答をみても特別な事情はなしと判断する)
栗原委員	b	↘	6	中学校での実施が目標値を下回っていたため、減点としました。
高島委員	b	→	7	内部評価と同様の評価とした。 中学校での実施が少ないのと、見沼たんぼ内での実施校が少なかった理由は?
長野委員	b	→	7	内部評価の判定理由は妥当と考える。
野崎委員	b	→	7	工程表の通り進捗されたかと判断しました。
延原委員	b	→	7	中学校での実施率が低いのが若干気になる。
橋本委員	b	→	7	事業計画(工程表)のとおり、進捗したと判断しました。
林委員	b	↘	6	参考資料内の「学校教育ファーム実施校から報告された主な成果」を読むと、とても貴重な良い教育体験になっていると感じる。但し、H22は中学校の増加数がかなり低いため、「6」に減点。 また、⑥「今後の取組・予定」でH23は小学校、H24は中学校を重点的にやるとのことだが、小学校は比較的実施しやすい傾向にあるものの、中学校を単年度で全校実施にもっていくのは無理と感じる。
廣瀬委員	b	→	7	中学校での取り組みが目標に達していない。取り組みの改善が必要ではないか。
福崎委員	b	→	7	県の公有地の効果的な利用法を市から提案し、増やして行ってほしいです。
町田委員	b	→	7	計画数の実現において予定どおりの進捗状況と判断。環境学習として歴史的な場所を活用することは有意義です。費用も経済的です。
三浦委員	b	→	7	工程通り進捗と評価。
委員会評価(平均点)	b		6.6	

【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外 No.5-3 (第6回委員会:8月19日(金)開催)

宣言・分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H22年度 主な目標等	H22年度主な実績 ☆進捗度aの要素 ★進捗度cの要素 △加点要素 ▼減点要素	H22年度達成度 (内部評価)			
							進捗度	加点減点	点数	評価理由
6 環境・まちづくり	49-4	見沼たんぼ、荒川などの自然環境・歴史的遺産を保全・活用し、教育ファーム、市民農園など市民が憩える場所を増やします。 (市民農園の整備)	4年以内	・24年度末までに見沼たんぼ内の市民農園を9か所に増、市内全域の市民農園を72か所に増	①市民農園開設8か所 ②見沼たんぼ内での市民農園の開設の検討・準備等	①市民農園開設8か所 ②見沼たんぼ内での市民農園開設2か所(前倒し実施)	b	△	8	・市民農園の開設について、平成22年度の数値目標、取組内容、工程表等のとおり進捗したの で、「b」と判断。また、見沼たんぼ内での市民農園について、1年前倒しで実施したため加点評価した。

委員名	達成度			「達成度」の評価理由等
	進捗度	加点減点	点数	
伊藤委員	b	→	7	計画通りである。
猪野委員	b	△	8	農園開設を前倒ししたことを加点評価。
木島委員	b	△	8	評価理由：見沼たんぼ市民農園の前倒し開設二箇所を評価し加点
栗原委員	b	△	8	—
高島委員	b	△	8	内部評価と同様の評価とした。
長野委員	b	→	7	見沼たんぼ内での新規開設分を含めた市内全域での新規開設数を工程表の目標分確保している。
野崎委員	b	→	7	工程表の通り進捗されたと判断しました。
延原委員	b	→	7	加点する程でもない。 土地を提供する市民のメリットをどうアピールできたかが知りたい。
橋本委員	b	△	8	事業計画(工程表)のとおり、進捗したと判断しました。
林委員	b	△	8	—
廣瀬委員	b	△	8	見沼たんぼ内の市民農園の開設の前倒しを加点要素と判断した。
福崎委員	b	△	8	増加はよしとして、継続のためのプランも明示してほしいです。
町田委員	b	△	8	目標施設数において、予定数に達しています。積極的な取り組みとしても評価します。
三浦委員	b	△	8	概ね工程通りだが、一部前倒しを評価。
委員会評価 (平均点)	b		7.7	

【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外 No.5-4（第6回委員会：8月19日（金）開催）

宣言・分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H22年度 主な目標等	H22年度主な実績 ☆進捗度aの要素 ★進捗度cの要素 △加点要素 ▼減点要素	H22年度達成度 (内部評価)			
							進捗度	加点減点	点数	評価理由
6 環境・まちづくり	49-5	見沼たんぼ、荒川などの自然環境・歴史的遺産を保全・活用し、教育ファーム、市民農園など市民が憩える場所を増やします。 (東宮下調節池の広場整備)	4年以内	・24年度末までに東宮下調節池を遊水機能を保ちつつ、市民が水と親しみ憩える場所として整備	・東宮下調節池整備工事に着手	・東宮下調節池整備工事に着手	b	→	7	・平成22年度の数値目標、取組内容、工程表等のおり進捗したので「b」と判断。

委員名	達成度			「達成度」の評価理由等
	進捗度	加点減点	点数	
伊藤委員	b	→	7	計画通りである。
猪野委員	b	→	7	工程表通り進捗。
木島委員	b	→	7	評価理由：目標通り コメント（質問）：H25年度まで工程が予定されているのはなぜか
栗原委員	b	→	7	—
高島委員	b	→	7	工程表通り進んでいると判断した。
長野委員	b	→	7	工程表通りの進捗である。
野崎委員	b	→	7	工程表の通り進捗されたと判断しました。
延原委員	b	→	7	特になし。
橋本委員	b	→	7	事業計画（工程表）のおり、進捗したと判断しました。
林委員	b	→	7	—
廣瀬委員	b	→	7	工程表通り。
福崎委員	b	↘	6	工事に関して、市民が思慮している点を挙げて、その対策をしている様子が分かるように、単年度目標を立ててほしいです。 工事が無事終了されることを期待します。
町田委員	b	→	7	予定どおりの進捗状況と判断します。このようなシンボリックな整備も必要かもしれませんが、華美にならないことを期待します。
三浦委員	b	→	7	工程通り進捗と評価。
委員会評価 (平均点)	b		6.9	

【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外 No.5-5 (第6回委員会:8月19日(金)開催)

宣言・分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H22年度 主な目標等	H22年度主な実績 ☆進捗度aの要素 ★進捗度cの要素 △加点要素 ▼減点要素	H22年度達成度 (内部評価)			
							進捗度	加点減点	点数	評価理由
6 環境・まちづくり	49-6	見沼田んぼ、荒川などの自然環境・歴史的遺産を保全・活用し、教育ファーム、市民農園など市民が憩える場所を増やします。 (高沼用水路の整備)	4年以内	・24年度末までに現存の水路数などを活用し、市民が水と親しみ憩える場所を2か所整備	①平成23年度の工事着手に向けた準備	①実施設計業務の発注等平成23年度の工事着手に向けた準備	b	→	7	・平成22年度の数値目標、取組内容、工程表等のおり進捗したので「b」と判断。

委員名	達成度			「達成度」の評価理由等
	進捗度	加点減点	点数	
伊藤委員	b	→	7	安全性に配慮した対応が必要。
猪野委員	b	→	7	工程表通り進捗。
木島委員	b	↘	6	評価理由：工程表では実施設計が終わる予定としているが、実際は終了していないため遅延。但し、発注までは終わっているため、bの減点とする。
栗原委員	b	→	7	—
高島委員	b	→	7	工程表通り進んでいると判断した。
長野委員	b	→	7	工程表通りの進捗である。
野崎委員	b	→	7	工程表の通り進捗されたと判断しました。
延原委員	b	→	7	特になし。
橋本委員	b	→	7	事業計画（工程表）のおり、進捗したと判断しました。
林委員	b	→	7	かなり広範囲の用水路工事と見受ける。東宮下調節池とともに期待大。
廣瀬委員	b	→	7	工程表通り。
福崎委員	b	↘	6	工事に関して、市民が思慮している点を挙げて、その対策をしている様子が分かるように、単年度目標を立ててほしいです。工事が無事終了されることを期待します。
町田委員	b	→	7	整備施設の状況から予定どおりと判断します。水を感じることができるものとしての整備を期待します。これらの施設を有効活用することを期待します。
三浦委員	b	↘	6	担当課の評価と事業実態はズレがあるのではないか？合理性に欠ける整備計画が、「こうぬまネットワーク会議」との協議過程で問題となり、実施設計見直しの必要性が生じていると認識している。ただし、市民との協議に基づき慎重に進めているということの評価してb-6。
委員会評価 (平均点)	b		6.8	

【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外 No.5-6（第6回委員会:8月19日(金)開催）

宣言・分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H22年度 主な目標等	H22年度主な実績 ☆進捗度aの要素 ★進捗度cの要素 △加点要素 ▼減点要素	H22年度達成度 (内部評価)			
							進捗度	加点減点	点数	評価理由
6 環境・まちづくり	51-1	下水道、都市公園、生活道路など生活密着型インフラ整備を推進します。 (都市公園の整備)	4年以内	・24年度末までに身近な公園を15か所増、身近な公園の不足する地域を20.3%から13.2%へ	①身近な公園を2箇所整備 ②身近な公園が不足する地域を18.4%とする	①☆身近な公園を5箇所整備 ②☆身近な公園が不足する地域を17.5%とした	a	→	9	・身近な公園2か所整備を5箇所整備、身近な公園が不足する地域を18.4%を17.5%としたことを評価し「a」とした。

委員名	達成度			「達成度」の評価理由等
	進捗度	加点減点	点数	
伊藤委員	a	→	9	公園管理の問題も配慮した対策が必要。
猪野委員	a	→	9	全体として目標値を上回っている。
木島委員	a	↗	10	評価理由：目標を上回った成果に加え、公園整備の達成率250%（実績5/目標2）を評価し加点
栗原委員	a	→	9	身近な公園は、災害時の緊急避難場所にもなりうると思うので、今後の整備に期待します。
高島委員	a	→	9	内部評価と同様の評価とした。
長野委員	a	→	9	年度目標を上回る整備数を確保している。
野崎委員	b	↗	8	工程表を上回って進捗されたと判断しました。
延原委員	a	→	9	特になし。
橋本委員	a	→	9	事業計画（工程表）のとおり、進捗したと判断しました。
林委員	a	→	9	—
廣瀬委員	a	→	9	工程表を上回るペースでの整備が続いている。
福崎委員	a	→	9	都市の中の公園は特に、「木陰」がたくさんある公園にしてほしいです。緑の多い公園が増えるほど、木々の管理費も予算として取る必要があります。
町田委員	a	→	9	当初を上回る予定数での整備状況、進捗状況と判断します。行政本来の事業として充実していただきたい分野です。
三浦委員	b	↗	8	工程表の目標を上回るペースで整備が進んでいるが、もともと不足する地域を減らすことが目標のこの事業で、大幅な加点評価はできない。b-8。
委員会評価 (平均点)	a		8.9	

【委員評価取りまとめシート】ヒアリング対象外 No.5-7（第6回委員会：8月19日（金）開催）

宣言・分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H22年度 主な目標等	H22年度主な実績 ☆進捗度aの要素 ★進捗度cの要素 △加点要素 ▼減点要素	H22年度達成度 (内部評価)			
							進捗度	加点減点	点数	評価理由
6 環境・まちづくり	51-3	下水道、都市公園、生活道路など生活密着型インフラ整備を推進します。 (下水道の整備)	4年以内	・24年度末までに下水道普及率を90%	①下水道普及率87.9%に整備	①下水道普及率87.9%に整備	b	→	7	・平成22年度の数値目標、取組内容、工程表等のとおり進捗したので「b」と判断。

委員名	達成度			「達成度」の評価理由等
	進捗度	加点減点	点数	
伊藤委員	b	→	7	不備な地域が多数あると思うが住環境と共に早急な対応が望ましい。
猪野委員	b	→	7	工程表通り進捗。
木島委員	b	→	7	評価理由：目標通り
栗原委員	b	→	7	—
高島委員	b	→	7	工程表通り進んでいると判断した。
長野委員	b	→	7	工程表通りの進捗内容である。
野崎委員	b	→	7	工程表の通り進捗されたと判断しました。
延原委員	b	→	7	特になし。
橋本委員	b	→	7	事業計画（工程表）のとおり、進捗したと判断しました。
林委員	b	→	7	—
廣瀬委員	b	→	7	工程表通り。
福崎委員	b	↘	6	巨額の投資に対して何も触れられていません。 委員会で投資効果、赤字事業の事実と収益可能性について議論されています。議論が生かされた改善、対応がされるよう望みます。
町田委員	b	→	7	予定どおりと判断します。行政にお願いし、充実していただきたい事業です。
三浦委員	b	→	7	工程通り進捗と評価。
委員会評価 (平均点)	b		6.9	

《ヒアリング対象外事業(7事業)》

宣言・分野	No.	倍増プラン事業名	委員名 (敬称略)	伊藤	猪野	木島	栗原	高島	長野	野崎	延原	橋本	林	廣瀬	福岡	町田	三浦	達成度																		
																		進捗度				点数										平均値				
																		a	b	c	d	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		0	平均値		
6 環境 ・まちづくり	見沼田んぼ、荒川などの自然環境・歴史的遺産を保全・活用し、教育ファーム、市民農園など市民が憩える場所を増やします。																																			
	49-2	歴史的遺産・自然環境の活用	達成度	進捗度	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	14			b			3	11									7.2
			点数	7	7	8	7	7	7	7	7	7	7	7	8	7	8	7	7																	
	49-3	教育ファームの実施	達成度	進捗度	b	c	c	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	12	2		b				10	2	2							6.6
			点数	7	5	5	6	7	7	7	7	7	7	6	7	7	7	7																		
	49-4	市民農園の整備	達成度	進捗度	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	14			b			10	4									7.7
			点数	7	8	8	8	8	7	7	7	8	8	8	8	8	8																			
	49-5	東宮下調節池の広場整備	達成度	進捗度	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	14			b				13	1								6.9
			点数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	7	7																		
	49-6	高沼用水路の整備	達成度	進捗度	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	14			b				11	3								6.8
点数			7	7	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	7	6																			
下水道、都市公園、生活道路など生活密着型インフラ整備を推進します。																																				
51-1	都市公園の整備	達成度	進捗度	a	a	a	a	a	a	b	a	a	a	a	a	a	b	12	2		a	1	11	2										8.9		
		点数	9	9	10	9	9	9	8	9	9	9	9	9	9	9	8																			
51-3	下水道の整備	達成度	進捗度	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	14			b				13	1								6.9		
		点数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	7	7																			

平成23年度 市民評価委員会開催日程(予定)

	期日・時間	内容及びヒアリング対象事業(案)		
第1回 (終了)	6月6日(月) 19:00~21:00	・委嘱状交付式 ・評価の実施手法 ・今後の進め方		
第2回 (終了)	6月24日(金) 19:00~21:00	項目数 (事業数)	宣言・ 分野別	個別事業名 (事業番号 事業数)
		3項目 (10事業)	条例宣言 行財政改革	①ノーマライゼーション条例 (No.Ⅱ-3 1事業) ②行財政改革推進チームの設置 (No.1-1~1-5 5事業) ③すべての窓口業務を区役所で (No.2-1~2-4 4事業)
第3回 (終了)	7月8日(金) 19:00~21:00	4項目 (7事業)	行財政改革 子ども	④マッチングファンド制度創設 (No.15 1事業) ⑤児童虐待ゼロを目指し、職員を増員 (No.20-1~20-2 2事業) ⑥子ども博物館構想の推進 (No.22 1事業) ⑦待機児童ゼロプロジェクト (No.24-1~24-3 3事業)
第4回 (終了)	7月22日(金) 19:00~21:00	5項目 (7事業)	高齢者 健康・ 安心・安全	⑧介護する人への支援体制を充実 (No.31 1事業) ⑨高齢者サロン、介護サロン (No.33-1~33-2 2事業) ⑩シルバー人材センター (No.34 1事業) ⑪シニアユニバーシティの充実 (No.35 1事業) ⑫健康寿命の延伸~元気倍増大作戦~ (No.37-1~37-2 2事業)
第5回 (終了)	8月5日(金) 19:00~21:00	5項目 (10事業)	健康・安 心・安全 環境・ まちづくり	⑬危機管理体制の構築 (No.39-1~39-6 6事業) ⑭民間住宅の耐震化補助事業拡充 (No.40 1事業) ⑮市内照明のLED化 (No.42 1事業) ⑯太陽光発電設備の設置推進 (No.43 1事業) ⑰新規建設事業費1%を文化・芸術のまちづくりに配分 (No.47 1事業)
第6回	8月19日(金) 19:00~21:00	5項目 (6事業)	環境・ まちづくり 経済・雇用	⑱市民が憩える場所づくりプロジェクト事業 (No.49-1 1事業) ⑲「高度地区」による高さ制限を導入 (No.50 1事業) ⑳生活密着型インフラ整備を推進 (No.51-2 1事業) ㉑都市計画道路を抜本的に見直し (No.52 1事業) ㉒自立生活支援プロジェクト事業 (No.53-1~53-2 2事業)
第7回	8月30日(火) 19:00~21:00	3項目 (13事業)	経済・雇用 地域間対立	㉓雇用倍増プロジェクト (No.54-1~54-11 11事業) ㉔大宮駅東口開発 (No.60 1事業) ㉕地下鉄7号線 (No.61 1事業)
《合計》		25項目 (53事業)		
	9月14日(水) 19:00~21:00	予備日		
第8回	9月22日(木) 19:00~21:00	取りまとめ		
第9回	10月6日(木) 19:00~21:00	取りまとめ		
	10月13日(木) 19:00~21:00	予備日		
	10月15日(土) 13:30~15:30	◎「市民評価報告会」		

※上記項目数は関連事業のある項目やプロジェクト事業を1項目と計上しています。

※ヒアリング対象事業(案)は現時点での候補であり、今後、委員会での議論を踏まえ、ヒアリング事業の追加・割愛をすることもありますので、あらかじめご了承ください。

※第1回~第9回までの会場はいずれも浦和コミュニティセンター第13集会室、市民評価報告会は同センターの多目的ホールを予定しておりますが、委員会の進行状況等により、日程等を変更する場合があります。

《第2回 6月24日(金) 開催分》

※ 網掛けは評価実施済みの事業

宣言・分野	No.	項 目	No.	個 別 事 業	評価 事業数	ヒアリン グ事業数	市民評価委員会 達成度評価結果	
							進捗度	点数
行動宣言 (5)	I-1	マニフェスト検証大会を毎年開催。(4年以内)			1		b	7.1
	I-2	タウンミーティングを全10区で計40回開催。(4年以内)			2		b	7.0
	I-3	現場訪問を400回実施。(4年以内)			3		b	7.1
	I-4	学校訪問を全校実施。(4年以内)			4		b	7.1
	I-5	職員との車座集会を100回開催。(4年以内)			5		b	7.0
条例宣言 (7)	II-1	市長任期を3期までとする、多選自粛条例を制定します。(すぐ)			6		d	0.6
	II-2	生涯スポーツを推進し、スポーツを活用した総合的なまちづくりを推進する「さいたま市スポーツ振興まちづくり条例」を制定します。(すぐ)			7		b	5.6
	II-3	障がい者も健体者も共に地域で暮らせるノーマライゼーション条例を制定します。(すぐ)			8	1	b	7.1
	II-4	一人ひとりの子どもが輝くために「子ども総合条例」を制定します。(2年以内)			9		d	3.9
	II-5	「文化都市創造条例」を制定します。(2年以内)			10		c	4.8
	II-6	さいたま市の憲法「自治基本条例」を市民参画で制定します。(3年以内)			11		b	6.4
	II-7	他市に類をみないスピードで進む高齢化に備えて「安心長生き条例」を制定します。(4年以内)			12		b	6.9
行財政改革 (14/28)	1	民間人専門家を入れた行政改革推進チームを、市長直轄組織として設置します。(すぐ)	1-1	行財政改革推進本部の設置	13	2	a	8.5
			1-2	事務事業評価の見直し	14	3	b	8.3
			1-3	補助事業の見直し	15	4	b	7.6
			1-4	外郭団体改革	16	5	b	6.9
			1-5	公共施設マネジメント会議設置	17	6	b	7.1
	2	すべての窓口業務を区役所で行えるようにします。(すぐ)	2-1	窓口改革・権限移譲(統括)	18	7	b	7.0
			2-2	予算	19	8	b	7.0
			2-3	組織・人事	20	9	b	5.9
			2-4	くらし応援室の設置	21	10	b	6.9
	3	区長マニフェストを全区長が策定するようにします。(すぐ)			22		b	5.9
	4	市長の退職手当を50%減額します。(すぐ)						
	5	市長給与を10%減額します。(すぐ)						
	6	指定管理者の指定などにおける透明性を確保します。(すぐ)			23		b	6.9
	7	一職員一改革提案制度を創設します。(すぐ)			24		b	8.2
8	政令市初の予算編成過程の透明化も含め、徹底的な情報公開を行います。(すぐ)	8-1	予算編成過程の公開	25		b	7.2	
		8-2	会派要望への対応状況の公表	26		b	6.1	

≪第3回 7月8日(金) 開催分≫

※ 網掛けは評価実施済みの事業

宣言・分野	No.	項 目	No.	個 別 事 業	評価 事業数	ヒアリン グ事業数	市民評価委員会 達成度評価結果	
							進捗度	点数
行財政改革 (12/28)	9	情報公開日本一を実現します。(2年以内)	9-1	情報提供体制の整備	1		b	7.5
			9-2	都市経営戦略会議の審議内容等の公表	2		c	3.9
			9-3	パブリックコメントの充実	3		c	3.9
			9-4	パブリシティの推進	4		b	6.9
			9-5	身近な道路整備要望への対応状況の公表	5		b	8.2
			9-6	市へ寄せられた意見とその対応状況の公表	6		b	7.0
	10	外郭団体の長への市長・副市長の兼職を廃止します。(2年以内)			7		a	8.6
	11	職員の自動的な天下りを廃止します。(2年以内)			8		b	6.9
	12	行政職への民間人登用を含め、実力ある人を適材適所に配置します。(2年以内)	12-1	行政職への民間人登用	9		b	6.9
			12-2	民間企業等経験者の採用	10		b	7.7
			12-3	適材適所の人事配置	11		b	7.1
	13	電子市役所を構築します。(4年以内)			12		b	6.8
	市民・自治 (3)	14	区民会議・コミュニティ会議の活性化に向けた、検討会議を設置します。(すぐ)			13		b
15		市民活動を推進するための「マッチングファンド制度」を創設します。(2年以内)			14	1	c	4.4
16		大学コンソーシアムの仕組みを構築します。(4年以内)			15		b	7.0
子ども (24)	17	子どもの好奇心を伸ばすために、プロのスポーツ選手やアーティストなどによる授業を拡大します。(すぐ)			16		b	7.0
	18	基礎学力向上のための「読み・書き・そろばんプロジェクト」、基礎体力向上のための「なわとび・逆上がりプロジェクト」、生活習慣向上のための「あいさつ・礼儀」・「早寝・早起き・朝ごはん」を推進します。(2年以内)	18-1	読み・書き・そろばんプロジェクト	17		b	6.1
			18-2	なわとび・逆上がりプロジェクト	18		b	7.1
			18-3	あいさつ・礼儀	19		b	7.0
			18-4	早寝・早起き・朝ごはん	20		b	7.0
	19	「放課後子ども教室」を増増します。(2年以内)			21		b	6.9
	20	児童虐待ゼロを目指し、対応する職員(保健師、児童相談所員など)を増員します。(2年以内)	20-1	児童相談所の充実	22	2	b	7.1
			20-2	保健所の充実	23	3	b	7.0
	21	家庭・地域・学校が連携して取り組む「土曜日寺子屋」を実施します。(4年以内)			24		b	7.0
	22	子どもの創造力を高める「子ども博物館構想」を推進します。(4年以内)			25	4	c	4.2
	23	「子育てパパ応援プロジェクト」を推進します。(4年以内)	23-1	1日保育士体験	26		b	7.1
			23-2	子育て支援センターの活用	27		a	8.7
			23-3	ワークライフバランスの認知度向上	28		b	6.1
			23-4	親の学習などのアドバイザー育成・親育ち支援策	29		b	7.0
24	保育所・学童保育所「待機児童ゼロプロジェクト」を推進します。(4年以内)	24-1	認可保育所	30	5	a	8.7	
		24-2	ナーサリールーム・家庭保育室	31	6	a	8.9	
		24-3	放課後児童クラブ	32	7	c	4.1	

≪第3回 7月8日(金) 開催分≫

※ 網掛けは評価実施済みの事業

宣言・分野	No.	項 目	No.	個 別 事 業	評価 事業数	ヒアリン グ事業数	市民評価委員会 達成度評価結果	
							進捗度	点数
	25	北九州方式を参考とした小児救急体制や、産科救急体制を整備します。(4年以内)	25-1	小児救急	33		b	7.1
			25-2	産科救急	34		b	7.1
	26	高校教育の底上げを図り、質の高い特色のある学校づくりを推進します。(4年以内)			35		b	6.9
	27	一人ひとりの子どもが輝くために、心のサポート推進事業を充実します。(4年以内)			36		c	4.9
	28	ノーマライゼーションの理念の共有化に向け、障害のある人もない人も、誰もが同じように住み慣れた地域で暮らし学べるよう、特別支援教育を充実します。(4年以内)			37		b	7.0
	29	学校教育における食育を推進します。(4年以内)			38		b	6.8
	30	メディアリテラシー教育の充実と携帯・ネットアドバイザー制度を創設します。(4年以内)			39		b	7.0

※ 網掛けは評価実施済みの事業

《第4回 7月22日(金) 開催分》

宣言・分野	No.	項 目	No.	個 別 事 業	評価 事業数	ヒアリン グ事業数	市民評価委員会 達成度評価結果	
							進捗度	点数
高齢者 (7)	31	介護する人への支援体制を充実します。(すぐ)			1	1	b	7.0
	32	配食サービスの拡充を図り高齢者の自立を支援します。(すぐ)			2		b	7.0
	33	空き教室や空き店舗、遊休施設などを活用し、各区に高齢者サロン・介護者サロンを設置します。(4年以内)	33-1	高齢者サロン	3	2	b	7.1
			33-2	介護者サロン	4	3	b	6.8
	34	シルバー人材センターの充実や団塊の世代の市民活動の推進など、高齢者が地域で働く場を増やします。(4年以内)			5	4	c	4.5
	35	シニアユニバーシティを充実します。(4年以内)			6	5	c	4.6
	36	高齢者を対象とした、(仮称)シルバー元気応援ショップ制度(割引制度)を創設します。(4年以内)			7		b	7.4
健康 ・安全・安心 (8/17)	37	食生活や運動習慣の改善を支援し、健康寿命の延伸を目指します。～元気倍増大作戦～(4年以内)	37-1	食生活・運動	8	6	b	7.0
			37-2	介護予防	9	7	c	4.3
	38	遊休地などを活用した、スポーツもできる多目的広場を増殖します。(4年以内)	38-1	多目的広場整備方針の決定	10		b	6.1
			38-2	都市公園内のグラウンド等の個人への開放	11		b	7.6
			38-3	民有地を活用した多目的広場の整備	12		b	6.9
			38-4	「(仮称)スポーツふれあい広場」の整備	13		b	7.1
			38-5	大学との連携による多目的広場の整備	14		c	3.9
			38-6	農業関連施設へのスポーツもできる多目的広場の整備	15		b	7.0

※ 網掛けは評価実施済みの事業

《第5回 8月5日(金) 開催分》

宣言・分野	No.	項 目	No.	個 別 事 業	評価 事業数	ヒアリン グ事業数	市民評価委員会 達成度評価結果	
							進捗度	点数
健康 ・安全・安心 (9/17)	39	万全な危機管理体制を構築します。(4年以内)	39-1	総合防災情報システムの構築	1	1	b	6.9
			39-2	危機事案発生時の初動体制の確保	2	2	b	6.8
			39-3	防災ボランティアコーディネーターの養成と避難場所運営体制の構築	3	3	c	3.9
			39-4	災害時要援護者への支援	4	4	b	7.1
			39-5	マンホールトイレの整備	5	5	b	7.0
			39-6	新型インフルエンザ対策	6	6	b	6.9
			39-7	地域防犯ステーションなどの増設と自主防犯パトロールの促進	7		※	
40	民間住宅の耐震化補助事業を拡充します。(すぐ)			8	7	b	5.1	
41	障害者自立支援法の時限措置終了後も、市独自の負担軽減策を継続します。(すぐ)			9		※		
環境 ・まちづくり (11/25)	42	市内照明のLED化率全国1位を目指します。(4年以内)			10	8	a	8.6
	43	太陽光発電設備の設置を推進します。(4年以内)			11	9	b	6.9
	44	「E-KIZUNA Project」などの実施により、次世代自動車の普及を促進します。(4年以内)			12		※	
	45	さいたま新都心のサッカープラザ計画は白紙撤回します。(すぐ)			13		※	
	46	コミュニティバス路線の検討委員会を設置します。(すぐ)			14		※	
	47	新規建設事業費の1%を魅力ある文化・芸術のまちづくりに配分します。(3年以内)			15	10	b	5.9
	48	公園・市有地・校庭などの芝生化、緑のカーテン事業などで身近な緑を増やす「みどり倍増プロジェクト」を実施します。(4年以内)	48-1	公園の芝生化	16		※	
			48-2	学校の芝生化	17		※	
			48-3	保育園の芝生化	18		※	
			48-4	学校の緑のカーテン	19		※	
			48-5	公共施設・家庭の緑のカーテン	20		※	
48-6			公共施設の緑化	21		※		
48-7			民間建築物の緑化	22		※		
48-8			花と緑でいっぱい・区の花の制定	23		※		

※ヒアリング対象外事業13事業については、時間切れで評価ができなかったことから、次回以降に評価を行うこととなりました。

《第6回 8月19日(金) 開催分》

【※網掛けは、ヒアリング事業】

宣言・分野	No.	項 目	No.	個 別 事 業	評価 事業数	ヒアリン グ事業数	所 管 課
環境 ・まちづくり (11/25)	49	見沼たんぼ、荒川などの自然環境・歴史的遺産を保全・活用し、教育ファーム、市民農園など市民が憩える場所を増やします。(4年以内)	49-1	見沼基本計画の策定	1	1	みどり推進課
			49-2	歴史的遺産・自然環境の活用	2		みどり推進課 文化財保護課
			49-3	教育ファームの実施	3		健康教育課 農業政策課 農業振興課
			49-4	市民農園の整備	4		農業政策課 農業振興課 みどり推進課
			49-5	東宮下調節池の広場整備	5		河川課
			49-6	高沼用水路の整備	6		河川課
	50	良好な住環境を守るための「高度地区」による高さ制限を導入します。(4年以内)			7	2	都市計画課
	51	下水道、都市公園、生活道路など生活密着型インフラ整備を推進します。(4年以内)	51-1	都市公園の整備	8		都市公園課
			51-2	暮らしの道路・スマイルロードの整備	9	3	道路環境課
			51-3	下水道の整備	10		下水道計画課
	52	効率的な道路ネットワークを構築するため、都市計画道路を抜本的に見直します。(4年以内)			11	4	都市計画課
経済・雇用 (2/20)	53	ワーキングプアを増やさない、部局横断的な「自立生活支援対策チーム」を設置します。(すぐ)	53-1	セーフティネットの構築	12	5	労働政策課 福祉総務課 住宅課
			53-2	ステップアップの取組	13	6	労働政策課 子育て支援課

次回 ヒアリング候補事業追加・削除取りまとめ一覧

《第7回 8月30日(火) 開催分》

宣言・分野	No.	項 目	No.	個 別 事 業	評価 事業数	ヒアリング ○(追加) ×(削除)			
						当初案 による 事業数	延原 委員	三浦 委員	木島 委員
経済・雇用 (18/20)	54	介護、福祉、医療、教育、環境、農業などの分野を中心に「雇用倍増プロジェクト」を実行します。(4年以内)	54-1	ものづくり企業支援事業	1	1			
			54-2	テクニカルブランド企業認証事業	2	2			
			54-3	戦略的企業誘致	3	3			
			54-4	産学連携によるイノベーション創出	4	4			
			54-5	新規就農者支援事業	5	5	×	×	
			54-6	事業所内保育施設推進事業	6	6	×	×	
			54-7	介護福祉士資格取得支援	7	7	×		
			54-8	ホームヘルパー2級資格取得支援	8	8			○
			54-9	福祉介護人材の養成確保	9	9	×		
			54-10	ものづくり人材支援事業	10	10			
			54-11	マッチング事業	11	11	○		
55	市内の観光資源を有効に活用し、海外も含め観光客を積極的に誘致します。(4年以内)			12				○	
56	起業家応援のための「ベンチャービジネス倍増プロジェクト」を実行します。(4年以内)	56-1	人材育成支援	13		○			
		56-2	創業環境支援	14		○			
57	コミュニティビジネスの支援制度を充実します。(4年以内)	57-1	コミュニティビジネス育成事業	15					
		57-2	コミュニティビジネス促進事業	16		○			
58	中小企業・小規模事業者への融資制度を充実します。(4年以内)			17					
59	企業のCSR活動の認証制度を創設・推進します。(4年以内)			18					
地域間対立を 越えて (3)	60	大宮駅東口再開発は、東日本の玄関口として経済・商業都市としての機能を高める開発を推進します。(4年以内)			19	12			○
	61	地下鉄7号線延伸は、経済性などを十分に考慮し、まちづくりと連動させて推進します。(4年以内)			20	13	×		○
	62	市庁舎のあり方は、地域的対立を越えた視点から、市民の声を聞きながら検討します。(4年以内)			21				○